

吉野町

空き家利活用による地域活性化と新たな雇用創出



1 雇用の場の確保に関する課題及び基本的な考え方

- ① 人口減少、少子高齢化が進み、高齢化率が50%を超える地域もあり、担い手不足等で地域経済が衰退している。
- ② 基幹産業の強化に取り組んでいるが、関連する地域経済へ波及させることが課題。
- ③ 施策として、地域産業に関連する起業・創業支援を推進。
- ④ 重点分野として、地域資源の掘り起こし、磨き上げを行い、小さな拠点づくりを推進し、地域活性化を図る。また、空き家等を利活用した起業などを推進。
- ⑤ 高齢者の生きがいづくりや、住民同士の広域連携の場の確保を促進。

2 取組の概要

- 地域おこし協力隊の受け入れを行い、空き家への入居を推進。
- 空き店舗活用起業支援事業により空き家等を活用したチャレンジショップを運営。
- 地域自治協議会に地域おこし協力隊、集落支援員を配置し、小さな拠点づくりの円滑な運営を促進。
- 国栖地区自治協議会に配置されていた地域おこし協力隊OBが起業支援補助金等を活用し、『くにす食堂』を開業。

3 取組の効果 または 苦労した点や今後の課題

- 『くにす食堂』において、地域の方が6名雇用されている。また、地域内外から当該地域に訪れる方（交流人口）が増加。
- 課題として当該地域以外での空き家活用した起業事例は少ない。
- 空き家は改修が必要な物件が多く、コスト面の負担が大きい。
- 空き家物件のさらなる掘り起こしや、移住促進と連携した起業支援が必要。

詳しくは 移住促進サイト「住んでよしの」
<http://sundayoshino.com>